

出席者 市教委(教) 宮島年夫教育長 鈴木達見指導主事  
知教労(組) 佐田京美 市野 司 堀口典宏

組 クーラー設置計画、部活動での今年の夏の暑さ対策、プール清掃を業者に依頼したことなど、昨年度以降の進展に感謝。

### 多忙化解消について

組 県の多忙化解消プランでは、来年度には80h超過者を0にしている。

昨年度から具体的に進んだ他のことは何か。

委 小学校の野外活動を2泊3日から1泊2日に縮減することについては、その方向で進めているが、市P連の理解を得たい。現時点では決定ではない。

高機能プリンター設置を予定。ページセット、ホッチキスどめもできる。リース替えの時期に合わせ、小学校から先に導入したい。

留守電、閉校日等は実施の方向で整理中。閉校日の職員の扱いや他の市町の様子など情報を得て運営方法など検討していく。留守電の準備は進めている。

組 勤務時間外に電話を取るのは、管理職にやっていただきたい。先生にも勤務時間があることを保護者に周知し、それからの留守電設置ならば保護者の理解も得られやすい。

組 音美技家の先生は担当クラス数が多い。市内では20クラス持ち担任もしている先生がいる。単純に1クラス35人としても、700人の生徒の成績をつけている。これではきめ細かい教育はできない。持ち時間数だけでは負担の大きさが見抜けないところがある。

小学校では講師の音楽専科はやはりクラス数が多く、夜遅くまで残っていることが多い。

委 愛知県で定数が決まっている。非常勤が必ずもらえるかどうかはわからない。大府市は当然要望しているが配当するのは県。どの教科にどれだけつけるかは、最終的には校長の判断だ。確かにクラス数が多いと大変。非常勤をもらうところでの調整が必要。

組 教務・校務、特に校務は成績を出す授業数が少ない。その分を他の先生が授業をしている。修繕、草取りなどは本来の教員の業務ではない。市で学校用務員を配置してほしい。

委 校務支援員ということで話題には出ている。費用がかかることなので、新規事業は難しい。エアコンで9億2千万円かかる。一案だと思うが、今は見込みがない。

組 教務や校務が成績を出す教科を受け持つことによって、小学校では担任に空き時間が生まれ、中学校では教科を分担することもできる。教員がやらなくてもよいことは、他の方に任せるようにしてほしい。校内の運用で可能なので指導してほしい。

### 勤務時間について

委 タイムカード・ICカードも検討はしているが、留守電を設置する方が優先である。

組 正確に労働時間が把握されていないことが問題。休憩が取れる体制が最も望ましいが、児童生徒がいる場合は取れないのが現状だ。出退校時刻の集計では、石ヶ瀬小、大府中は休憩時間を差し引いているが、他の学校では休憩が取れていないにもかかわらず、取ったことにして集計している。県教委からは、そうしないようにという文書が2月に出ている。

委 適正な勤務時間の把握について先日の校長会で説明した。11月の調査ではきちんとできるはず。

組 コピペの疑いのある記録もまだある。やはりタイムカードなどの客観的で正確な把握ができる機器を導入してほしい。

また、コピペの疑いは見ればわかる。管理職は見えていないのではないかと管理職に正確に管理するよう指導してほしい。

100時間超えや200時間超えの人もいる。管理職のマネジメントができていない。

委 当該者にはきちんと話しをしていると思う。

組 バス電車内移動の休憩時間がいまだにある。小学校では共長小。中学はほとんどである。

委 話をしておく。

### 部活動について

組 中学校の朝部活をやめてほしい。

委 大府はいち早く6月7月はなくした。保護者からの反対の声もある。最終的には朝部は無くしていく方向にはあるのかもしれないが、今すぐにはできない。豊橋市のように朝部中止といった時代の波が来るとは思う。まず、決められたことをきちんとやろうということは進める。朝部を続けることは、絶対的なものではなく、時の流れによって変動していくものでもある。

組 法令を守るという観点を持っていただきたい。勤務時間外の朝や勤務後に先生が部活をやる義務はない。保護者の要望もあるだろうが、そこは教育委員会が先生たちの勤務時間を守るという盾になってほしい。

委 お聞きしておく。県のガイドラインが出たので市もそれを守っていききたい。

組 子どもをずっと学校に縛り付けていいのかということも考えるべき。徐々に学校から部活動を引き揚げていくことが必要だ。

小学校部活を廃止してほしい。エニスポというスポーツクラブを拡大できないか。

委 小学校の部活は、廃止ではなくて縮減が課題だと思っている。学校外の方の理解も得て進めていきたい。大会を前倒しにして部活の時期を絞っている。それも縮減になっている。

委 来年度から部活動指導員を進める方向でいる。まだ予算はついていないが、大府市は国からの補助金を受ける受けないは関係なく進めていく方向。いきなり全部ではないが、少しずつ増やしていく方向。

組 小学校は部活動指導員は入るのか。

委 まず中学校で始める。指導員には研修が必要で課題も多い。将来小学校にも広められる可能性はある。

組 中学校の指導員は顧問としても引率もできる指導員か？学校の先生が顧問を離れ、その指導員に代わることができる指導員か？

委 そうだ。部活動指導員ということで引率もできる。ただ、研修を必要とするのでいきなりはできない。ひとまずは部活動の担当者もいて欲しい。なだらかに進めたい。

組 小学校は陸上大会がなくなればだいぶ負担軽減になると思う。

小学校の部活については、縮小しながら教員の手を離れるという方向ではあると？

委 ベクトルはそっちを向いている。今は縮減していこうというところである。

組 部活動の顧問は、やる・やらないの希望をとってほしい。生徒も自由参加にしてほしい。

委 お願いというスタンスでやっている。

組 お願いされたら断りにくいのが現実だ。顧問をやる・やらないの自由はあるはず。顧問の希望がない部活に部活動指導員を充て、徐々に部活動を教員の手から放してほしい。

## その他

組 「知多の友」「数学のリープ」を公費から外

せないか。編集の出張があるために出版をなくしてもいいと考えるが、公費負担ならば作らざるをえない。公費負担の内容のものは本当に必要なかを検討してほしい。「健康手帳」もc4t hで印刷できるので必要はない。

委 お聞きしておく。知多管内の10市町の情報を聞いてみる。

組 職場体験＝キャリアスクールは市として受けなくてほしい。中学生でやるには限界がある。他のことでキャリア教育をやれば良い。

委 お聞きしておく

組 学校訪問は簡略化できないか。特研以外の指導案は略案でよい。また、2ヶ月前に指導案を出すように指示をする学校もあり、早すぎる。教委からそんなに早くやるな、環境点検もやるなど指導して欲しい。

委 学校個別の問題。教育委員会からはそんなに厳しく言っていない。校長会で極力先生方に負担がかからないように話をしたい。

組 指導案についてはどうか。

委 知教協でも簡略化の話は出ていて、やっているところもある。検討課題ではあるが、訪問をやめるという話はない。要請訪問なので。

組 訪問の計画が先に有り、それに沿って「要請してください」という学校訪問は純粋な要請訪問ではない。

組 地域からの配布物が多い。減らしてほしい。

委 努力している。教委に来ている分は結構断っている。学校に直接来るものは校長の判断。市役所のものは配って欲しい。

組 夏休み作品応募は広報に載せるなどして、主催者でやってほしい。

委 少なくなるよう努力している。新たに来るものは断っている。

組 神田小の保健室の回線は使われていないが。

委 調査する。使われていない回線はインターホンの設置に合わせて回収している。

組 出入りが1つしかない教室は違法では。

委 建築法には条件はない。法的にどうかは調査が必要。

組 WBGT31 度になったら、運動や部活動は中止することを徹底して欲しい。

委 しっかり指示が出ている。この夏は指示通り対応していただいた。気温35度で中止する。

組 旅行届は、法令で決まっているのか？

委 県内はない。海外は確認する。

(以上)